

高槻市山手町～長岡京市神足

● 歩行距離 / 9.5km ● 標準歩行時間 / 2時間23分 ※1時間4kmで計算しています



高槻市から島本町を通って大山崎町、長岡京市へ。大山崎町には、離宮八幡宮や妙喜庵などがあり、歴史散策にはぴったり。紀貫之、豊臣秀吉、明智光秀、千利休をはじめとした多くの歴史上の人物が行き交った地です。長岡京市は古代の都であった長岡京跡をはじめ、乙訓寺や勝龍寺城跡などがあります。

若山神社

素盞鳴尊(すさのおのみこと)をまつり、大宝元年(701)に行基が創建したと伝えられている神社。近世には、地域の氏神として広く崇敬を集め、現在でも多くの人が参拝に訪れます。春は桜、秋は紅葉の名所として知られ、境内からは三川合流地点や男山を望むことができます。

水無瀬神宮

かつて後鳥羽天皇の離宮があったとされる地に立つ神宮。重要文化財である客殿は、豊臣秀吉が家臣・福島正則につくらせ寄進したとされています。また、境内には大阪府で唯一環境庁(現環境省)認定の「名水百選」のひとつ「離宮の水」があります。

離宮八幡宮

貞観元年(859)に、宇佐八幡神を嵯峨天皇の離宮跡に祀ったのが始まりとされる神社です。平安時代後期から始まった荏胡麻油づくりは、鎌倉・室町時代になって発達し、全国の油販売権を独占しました。寛永11年(1634)には徳川家光の庇護を受け、境内が拡張されました。

宝積寺

奈良時代の僧行基が開基と伝えられています。平安時代後期から確認できる真言宗寺院です。豊臣期に建てられた「一夜の塔」と呼ばれる三重塔(重要文化財)、桃山時代の様式という本堂(府登録文化財)など、多くの建造物が残ります。

天王山・山崎城跡

標高270メートルの天王山には、重要文化財の神興庫を持つ酒解神社、真木和泉守らを祀る十七士の墓、羽柴秀吉が築いた山崎城跡などが残ります。(写真は天王山中腹の山崎合戦の碑)



梶原台場跡

動乱の幕末期、京都を守る会津藩は、街道上の大坂側に台場(砲台)を設け、敵対する長州藩などの上洛阻止を図りました。慶応元年(1865)に京街道の楠葉台場、西国街道の梶原台場が完成。梶原台場は、200m×300mの規模で、稜堡式という西洋の築城プランで築かれました。残念ながら、その跡は残されていません。

島本町立歴史文化資料館(旧麗天館)

JR島本駅の東側に建つ資料館は、昭和16年に国指定史跡桜井駅跡の記念館として建てられました。その後、大阪府立青年の家の講堂として活用され、平成13年に閉所、平成20年に島本町の歴史や文化を紹介する資料館として生まれ変わりました。
開館時間▶9:30~17:00 入館料▶無料 休館日▶月曜(祝日の場合はその翌日)、年末年始、展示準備期間 ☎075-961-3411

アサヒビール 大山崎山荘美術館

大正から昭和初期にかけて建築された大山崎山荘を世界的な建築家・安藤忠雄氏の監修により修復し平成8年(1996)4月にオープンした美術館です。自然と山荘・庭園が一体となった美と安らぎの空間で美術鑑賞を楽しめます。

妙喜庵

室町時代後期に僧春嶽が開山したという。千利休が建てたとされる国宝の茶室「待庵」は、当時の様子を示す二畳の茶室です。利休の山崎屋敷から移築したものと言われています。妙喜庵書院も重要文化財です。拝観は往復ハガキで1か月前に申し込みが必要です。

大山崎町歴史資料館

大山崎ふるさとセンター2階。考古資料や茶室待庵の実物の複製などを展示。わかりやすい映像も好評で、油売りや秀吉、光秀による山崎合戦の理解も深まります。ふるさとガイドの会に無料で展示解説を申し込むことができます(要予約)。
開館時間▶9:30~17:00 入館料▶一般200円、中学生以下無料 休館日▶月曜(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日、年末年始 ☎075-952-6288

長岡京市立 中山修一記念館

故・中山修一氏(1915~1997)は、平城京から平安京へ遷るまでの10年間都が置かれた長岡京の調査研究に尽力した人物です。記念館は、中山氏の生家の一部を長岡京市が寄贈を受け、その業積をわかりやすく学べるようにした施設で、氏の蔵書を閲覧することもできます。